

令和4年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

高等学校・家庭 問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 1 この問題は6問5ページで、時間は60分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配布します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

高等学校 家庭

1

次の(1)～(3)の問いに答えよ。

- (1) 次の文は乳幼児の頭部について説明したものである。また、下の図は、新生児の頭部を上から見たものである。文中および図中の①～⑥に適する語句または数字を、記せ。

平成22年厚生労働省「乳幼児身体発育調査」によると、新生児の頭囲の平均値は約(①) cmである。頭部は(②)で覆われている。(②)の内部には、運動・感覚・精神の各機能のはたらきをする(③) (脳, 脊髄)がある。(③)は、その周りを満たす(④)によって外圧から守られている。

(②)は五つの部分に分かれていて、比較的骨が接している部分と大きく離れている部分がある。前方の大きく離れている部分が(⑤)、後方の小さいすき間が(⑥)である。

※著作権法に基づき掲載は省略します

- (2) 乳幼児期のうち誕生後何週までを新生児期というか、記せ。また、その時期に持っている能力の特徴を、簡潔に説明せよ。
- (3) 乳幼児期のアタッチメントについて、簡潔に説明せよ。また、アタッチメントをはぐくむために大切なことは何か、それぞれ解答欄の言葉に続けて、記せ。

2

次の(1)～(3)の問いに答えよ。

- (1) 青年期の課題である「自立」について、生活的自立、経済的自立以外を、三つ記せ。また、それぞれの自立の内容を、簡潔に説明せよ。
- (2) 次の文の①～③に適する語句を、記せ。

日本では、高度経済成長期(1950年代後半～)以降、性別役割分業が広まった。しかし、国際社会では男女平等の考え方が強まり、1979年第34回国連総会において(①)が採択された。これを受けて、日本では1985年に(①)を批准し、1986年に(②)が施行された。1997年の同法の改正を受けて(③)が改正され、女性の時間外・休日労働、深夜業の規制の解消がなされた。2007年の(②)の改正では、男女双方に対する、性別を理由とする差別的取扱いが禁止となった。

- (3) 男女共同参画社会基本法(平成11年6月施行、同年12月改正)において示された、「男女共同参画社会の形成」の意義を、簡潔に説明せよ。

3

次の(1)～(3)の問いに答えよ。

- (1) 日本の住宅の変遷について、次の①～④から正しいものを一つ選び、記号で記せ。
- ① 平安時代、貴族の住む住宅の様式は、書院と呼ばれ、次の間を隣接させ、座敷飾りとして床の間、違い棚・付け書院などを組み合わせて配置した。
- ② 戦国時代を経て、天下が統一されると、身分・格式を明確に示し、接客・対面を行う場が重視された。この場となる部屋を寢殿と呼び、この住宅様式を寢殿造という。
- ③ 明治期になると都市の独立住宅では、官吏・会社員などのいわゆるサラリーマンたちによって、敷地が塀で囲まれ、入り口に門を設け、玄関・座敷構えといった間取りの住宅が作られた。この住宅は「異人館」と呼ばれ、多くの日本人にはまだ身近なものではなかった。
- ④ 第二次世界大戦後、鉄筋コンクリート造の集合住宅が公営アパートとして急増した。各戸には食堂と台所を一体にして面積を節約した、ダイニングキッチンが採用された。

- (2) 次のア、イは、日本の気候、風土に根ざした地域特有の伝統的な住宅である。それぞれの住宅の特徴を、簡潔に説明せよ。

※著作権法に基づき掲載は省略します

- (3) 次のA、Bの住宅について、それぞれ簡潔に説明せよ。

A コーポラティブハウス

B コレクティブハウス

4

次の(1)～(3)の問いに答えよ。

- (1) たんぱく質に含まれている元素のうち、炭水化物や脂質と異なる元素を、二つ記せ。
- (2) 次の①～③のうち、正しいものを一つ選び、記号で記せ。
- ① たんぱく質に糖が結合したものを糖たんぱく質といい、糖たんぱく質の主なものに、小麦のグルテニンや米のオリゼニンがある。
- ② 単純たんぱく質のグロブリンは、水にとけず、薄い食塩水にとけ、加熱すると凝固し、アルブミンと共存している。グロブリンの主なものに、大豆のグリシン、肉のミオシンがある。
- ③ 核たんぱく質は、単純たんぱく質と核酸が結合し、たんぱく質の合成に関係する。核たんぱく質の主なものに、血液のヘモグロビン、筋肉のミオグロビンがある。

(3) ゼラチンと寒天について次の①, ②の問いに答えよ。

- ① それぞれについて, 使用濃度, 溶解温度, 凝固温度を含めた特徴を, 簡潔に説明せよ。
- ② 高等学校学習指導要領(平成30年公示)各学科に共通する各教科「家庭」に示される「3内容の取扱い」を踏まえた, ゼラチンと寒天の特徴についての授業展開例を, 記せ。

5

次の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 家計について, 次の①～③の問いに答えよ。

① 収入について, 下の図のア, イに適する語句を, 記せ。



- ② 非消費支出に含まれるものを, 二つ記せ。
- ③ 実収入から非消費支出を差し引いた金額を何というか, 漢字五文字で記せ。

(2) 消費者教育推進法(平成24年施行)において示された「消費者市民社会」とは, 消費者がどのような社会の形成に参画すると定義しているか, 記せ。

(3) 「消費者基本法」(平成16年公布)に示される基本理念を, 二つ記せ。

6

全国高等学校家庭科被服製作技術検定洋服1級「裏つきジャケット」の製作について、次の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 次のI～IVの手順で作業を行うこととした。a～hに適する語句または数字を、記せ。

I 裏布の後ろ身ごろを中表に合わせ、しるしどおりに(a)をする。ウエストラインまではしるしの(b) cm外側を、ウエストラインから下はしるしの(c) cm～(d) cm外側をミシン縫いする。切りかえは、しるしどおりに(a)をし、しるしの(c) cm～(d) cm外側をミシン縫いする。きせをかけて裏布に(e)をもたせるようにする。

II 後ろえりぐり見返しと裏布の後ろ身ごろを縫い合わせる。

III 前見返しと裏布の前身ごろを縫い合わせる。すそは、すそのできあがり線位置から(f) cm縫い残す。

IV 表身ごろ：前・後ろ身ごろの肩を縫い合わせる。縫いしろは(g)る。

裏布：前・後ろ身ごろの肩を縫い合わせる。見返しの縫いしろは(g)り、裏布の縫いしろは(h)側に片返す。

(2) すそのしまつについて、下の図の①～③の縫い方を、下から選び、記号で記せ。

※著作権法に基づき掲載は省略します

ア 千鳥がけ イ たてまつり ウ 奥まつり エ 星どめ オ 返し縫い

(3) ジャケットの裏布の役割を、三つ記せ。

受検番号	
------	--

氏名	
----	--

※

--

----- 切り取らないこと -----

令和4年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

※

--

高等学校 家庭 解答例

1	(1) 2×6	①	33 cm	②	頭蓋骨	③	中枢神経
		④	髄液	⑤	大泉門	⑥	小泉門
20点	(2) 3	生まれてから最初の4週。目覚めているときは原始反射などのさまざまな能力を発揮する。また、知覚能力もすでに備わっている。					
	(3) 2・3	アタッチメントとは 生後6～7か月経ってから形成される主に親など親密な人との間に形成される愛着関係。 ----- アタッチメントをはぐくむために大切なことは、養育者と乳児とのスキンシップが多いこと。乳児のさまざまなサインを受けとめることのできる養育者の感性の豊かさ。安定し一貫した養育環境。					

2	(1) 完全解答 2×3	精神的自立	日常にあるさまざまな問題に対して、自分で判断し、責任を持って行動できること。				
		社会的自立	社会の一員として責任ある行動がとれ、人との関わりにおいて合意を形成したり、人間関係を調整したりすることができること。				
		性的自立	自分の性だけでなく、他者の性を尊重した、責任ある行動がとれること。				
(2)	①	女子差別撤廃条約	②	男女雇用機会均等法	③	労働基準法	各2
(3) 4	男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ共に責任を担うべき社会を形成すること						

3	(1)	④	2
	(2)	ア	特徴 厚みがあり蓄熱が可能な屋根や自然素材の壁材など、電気やガスに頼らなくても快適に暮らせる工夫がある
	各2	イ	特徴 瓦屋根を漆喰で固め、台風に備えている。高温多湿のため、開口部が多く、風通しがよい
	(3)	A	住まいを持ちたい人同士が集まり、話し合いを重ねながら建築家と共に作り上げていく集合住宅
各2	B	自分たち専用の独立した住空間のほかに、団らん室、食事室など暮らしの一部を共同化した空間をもつ集合住宅	

(裏面に続く)

4	(1)	窒素	硫黄	(2)	②	各2
	15点	(3)	① ゼラチンの特徴 粉ゼラチンの使用濃度は2～4%である。溶解温度は40～50℃である。ゼラチン液を沸騰させると固まりにくくなる。凝固温度は3～10℃であり、氷水等で冷やさないと固まらない。	② 寒天の特徴 粉寒天の使用濃度は0.4～1%である。溶解温度は約100℃である。寒天液を煮立たせないと溶けない。凝固温度は28～30℃であり、水道水で冷やしても固まる。	③ ・調理実習を実施して、生徒に使用濃度を変えたゼラチンゼリーと寒天ゼリーを作らせる。 ・・・A ・ゼラチンと寒天を溶かす温度を変えて実習する。・・・B ・生徒に、A・Bそれぞれのゼリーの状態を確認させたり、A・Bそれぞれのゼリーを試食させ、食感、味を食べ比べて考察することで、ゼラチンと寒天の特徴について、生徒の理解を図る。	

5	(1)	①	ア	経常	収入	イ	特別	収入	
	14点	①③2 ②1	②	税金	社会保険料	③	可処分所得		
	(2)	公正で持続可能な社会							2
(3)	消費者の権利の尊重				消費者の自立支援				各2

6	(1)	a	しつけ	b	1	cm	c	0.2	cm
		d	0.3	cm	e	ゆとり	f	2	cm
		g	割	h	後ろ身ごろ				
	(2)	①	ア	②	オ	③	ウ	各2	
(3)	各1	すべりをよくして着やすくする							
組織の粗い布や、透ける布の透過を防ぐ									
表布のシルエットをきれいに見せる									